



国住生第206号
平成22年6月11日

NPO法人新木造住宅技術研究協議会 御中

国土交通省住宅局住宅生産課長



長期優良住宅先導事業（平成22年度第1回）の
採択事業の決定について（通知）

長期優良住宅先導事業（平成22年度第1回）について、別紙のとおり貴殿の応募された事業を採択することに決定いたしましたので通知いたします。

補助対象とする事業の範囲、交付予定額については、別紙の通りとします。なお、本件についてのお問い合わせは、下記担当者までお願いします。

担当 国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備室 近藤、石坂
tel.03-5253-8111 (内線 39677, 39663)

提案の部門名 既存住宅等の改修に関する提案

1. 事業提案名

新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト

2. 提案者（代表者）名

NPO 法人新木造住宅技術研究協議会

3. 補助額等

全体補助限度額 国費 429 百万円 (250 戸相当分)

※補助対象は建築工事費のみ

※別に附帯事務費を計上することが可能

4. 附帯条件

①別添 1 に記載された基本性能及び先導的提案の概要に適合するものとすること。

②別添 2 に記載された普及啓発の内容を実施するとともに、今回評価を受けた先導的な提案概要について自社のホームページ等を活用し、情報提供に努めること。

③早期の事業完了を図る観点から、平成 22 年度内に着工することとし、可能な限り平成 22 年度内に竣工すること。

④建て主又は買い主に対して、長期優良住宅先導事業の概要、評価を受けた内容と補助を受けている旨を説明すること。

5. 留意事項

①全体補助限度額及び戸数配分については、事業の実施状況等を踏まえ、変更することがあること。

②都市計画、基盤整備の観点から支障が懸念されるものについては、補助対象としないことがあること。

③平成 22 年度の補助事業の実施のための手続き（交付申請書類の提出、補助金の請求等）については、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会が連絡する方法に従い、当該連合会に対し、行うこと。

④本通知をもって、施越工事（交付決定以前の事業の着手）を承認するため、交付決定以前でも工事の着手は可能であること。

⑤附帯事務費を除き、補助金は、請負の場合にあっては、建て主に帰属するよう必要な措置を講ずること。

先導的提案の概要

応募事業提案名		新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト	
項目	改修を行う部分と改修により向上する内容 及びその実現手法	左記を確認する具 体的方法	
構造躯体の耐久性 (劣化対策)	<p>① 施工前の調査－外壁下部30～40cm程度切り取り、横列に開け、土台柱部の木材腐朽、蟻害の検査を行い、被害箇所の補修を行う。</p> <p>② 床の断熱改修を、基礎断熱で行うか床の断熱補強を行うかに応じて必要な地盤防湿を行う。</p> <p>③ 外壁の上下気流止めによって壁内に侵入する水蒸気は著しく減少するので、既存外壁がモルタル、サイディング等の場合、これで壁内結露は殆ど防止できる。</p> <p>④ 室内に連続換気設備を設置し適度な湿度を管理、表面結露を防止する。</p>	<p>現場チェックシート(写真付き)</p> <p>工事計画書</p> <p>工事記録書 (写真付き以下同)</p>	
住宅の耐震性	<p>① 現状把握－耐震診断を行い、耐震補強計画を立てる。</p> <p>② 壁－柱、間柱と土台、桁、胴差し部の切り取り部を構造用合板で緊結して既存筋交いを補強、壁倍率を上げます。また、合板の貼りづらい箇所には耐震金物を利用することで等級1まで高めます。現状で耐震等級1相当と認められる場合は、耐震改修を実施する必要は無いと考えます。</p> <p>③ 基礎－有筋であることを確認し無筋の場合は必要な補強をする。</p>	<p>着工前耐震診断表</p> <p>工事計画書 (改善計画)</p> <p>工事記録書</p> <p>完成時耐震診断表</p>	
内装・設備の維持管 理の容易性	<p>① 改修部分の配管に鞘管を採用しメンテナンスを容易にする。</p> <p>② 天井、床の改修部分に点検口を設け管理しやすくする。</p>	<p>工事計画書</p> <p>工事記録書</p>	
変化に対応できる 良質な居住空間	① 室内の温度差がなくなるためオープンな間取りに対応できる。結果、家族数の変動、家族の加齢、生活スタイル等の変化に柔軟に対応できる。	工事計画書 (平面図)	
長期に利 用され る躯体に おいて対応 してお くべき性能	省エネルギー対策	<p>① 断熱材の補充、付加断熱、開口部強化、熱交換換気の採用などを行い、全地域で次世代省エネ基準の等級4を満たす。但し、I地域でA工法の場合(前ページ図④)はII地域同等とします。 I地域 1.6 II地域 1.9 III地域 2.4 IVV地域 2.7 (W/m²K)</p> <p>② 開口部－冬は日射取得に配慮し自然エネルギーを利用、夏は通風や西日対策等を施し、冷暖房エネルギー抑制対策をとる。</p> <p>③ 全戸、改修後の省エネルギー計算をQPEXで行います。</p>	<p>新住協の熱計算プ ログラム QPEX 計 算書 (熱損失係数、夏期 日射取得係数)</p> <p>気密測定結果表</p>
	バリアフリー性	① 室内の温度差が減少されるのでオープンな間取りが可能になり、バリアフリー改修がしやすくなる。	工事計画書 (バリアフリー改 修計画)
	防耐火性能	<p>① 外装材－改修時、防火基準を満たした外装材を施工する。</p> <p>② 断熱材 通気層内に面する断熱材は火災時燃えやすいので不燃材(グラスウール、ロックウール)を採用する。但し、I、II地域では次世代基準を満たすために難燃性の高い他の断熱材を使用することもある。</p>	工事計画書・仕様関 係図書(屋根、外壁、 開口部、断熱、仕上 げ表)
維持保全計画の作成等 記録の作成及び保 存等 流通促進等に関する取組み	<p>① 古い建物はすでに図面が消失されているケースが多いので、あらためて平面立面矩計図を作成、関係書類と共に保管資料を作成します。</p> <p>② 施工業者と新住協事務局はこれを保管、管理します。</p> <p>③ 事務局は、必要に応じてデータを開示します。</p>	工事計画書及び工 事報告書の事務局 保管(平面図、立面 図、矩計図、配置図、 付近見取り図)	

普及啓発の内容

応募事業提案名	新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト
① 長期優良住宅普及への寄与内容の説明	
1. 市民住宅セミナー（ユーザー向け） 毎年全国4～5カ所で市民住宅セミナーを開催しているので、長期優良住宅の推進をPRします。 因みに2009年度は、帯広、旭川、札幌、岩手県内5カ所、山形県内6カ所で開催しました。（下写真左）	
2. 住宅性能体験見学会（ユーザー向け） 毎年恒例に開催している全国一斉住宅見学会（2009年度第3回開催は2/6、7日59会場）で、リフォーム会場を積極的に展示し、冬の性能改善をユーザーにPR、体験して頂きます。（下写真中）	
3. 研修会 工務店向けセミナー これまで通算28回になる専門業者向けセミナー 「そうだったのか高断熱住宅」にテーマアップし、 技術情報を提供するなど全国の会員外工務店等に リフォームへの取り組みを積極的に促します。（下写真右）	
  	
4. 実施予定事業 (1) 住宅性能体験見学会 ■名称：全国一斉住宅性能体験見学会（断熱リノベーションの成果を公開する入居住宅のオープンハウス） ■時期 平成23年2月5日（土）6日（日） (2) 市民住宅セミナー 盛岡、仙台、旭川、札幌他で開催予定（8月～11月 詳細未定） (3) 業界専門家向けセミナー（技術普及セミナー）4カ所開催予定 6.18 盛岡（済）7.10 大宮 8月末 名古屋、大阪予定	

長期優良住宅先導事業（平成 22 年度第 1 回）の 補助の対象となる住宅について

平成 22 年度第 1 回長期優良住宅先導事業における採択事業「新住協の断熱耐震同時改修プロジェクト」については、下記の条件を満たす住宅について補助の対象とすることとします。

記

- ① 以下に掲げる工事を実施するもの。
 - ・別添 1 に記載する構造躯体の耐久性の向上（劣化対策）に係る工事
 - ・住宅の耐震性の向上に係る工事

- ②竣工後、別添 1 に記載された先導的提案の概要の全ての要件に適合するもの。

以上